

〈入試科目の見方〉

公募推薦入試のみ受験の場合は、各入試科目の「公募推薦」の欄についている○が受験科目になります。また、公募推薦入試と給費生入試を同時出願する場合は「給費生」の欄の○が受験科目になります。

電子オルガンコース

試験科目	内容	注記	A O	給 費 生	公 募 推 薦	一 般 期	一 般 後 期
1 主科実技課題	A. 次の(1)および(2)の両方を演奏する (1) 楽曲演奏 出願時に自由曲を2曲提出し、当日その中から指定された1曲を演奏する (2) 即興演奏 16小節程度のコードネーム付きメロディに伴奏を付け、続いて1~2コーラスの変奏をする	※(1)の楽曲演奏については暗譜とする。 ※(2)の即興演奏については予見3分。 ※楽曲演奏と即興演奏の使用機種は、以下の中から出願の際に選択する。 ・ YAMAHA ELS-01C ・ YAMAHA EL-900m ・ KAWAI DT9 ・ KAWAI DT7 ・ Roland AT-900C ・ Roland AT-80S データメディアは音色およびシーケンス用データとしてのみ使用可。自動演奏は不可。	○	○	○	○	
	B. 自由曲1曲	※暗譜でなくてもよい。					○
2 楽典	筆記試験 (60分)		○	○	○	○	○
3 ソルフエージュ課題	以下の(a)~(c)のいずれか1つを選択する (a) 旋律聴音2題 (b) F.Wüllner: Chorübungen der Münchener Musikschule (コールユープンゲン第1巻) No.33~59(原書番号)の中から1曲を当日指定 (c) 新曲視唱	※聴音および新曲視唱の実施方法と例題は●ページを参照。唱法は固定ド、移動ドいずれでもよい。	○	○	○	○	○
4 AO面接			○				
5 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選んでその伝記を読み、試験当日に課題作文を書く。(60分) 詳細は●ページに記載。	※伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。		○			
6 給費生面接				○			
7 一般科目	A. 本学で行う以下の一般科目(a)~(c)の中から1科目を選択して受験 (45分) (a) 英語(I・II) (b) 国語(国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く) (c) 数学I						○
	B. 大学入試センター試験の成績を利用する 以下の(a)~(f)の中から2教科2科目を選択 (a) 国語 (b) 地理歴史 (c) 公民 (d) 数学 (e) 理科 (f) 外国語	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					○

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース
- サカドブチコース
- ピアノ演奏家コース
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦響打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アートマネジメントコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース